

台湾企業とのネットワーク構築、ものづくりマッチング商談会 in 台湾(台北市)
タイトロニクス見本市ブース出展
企業募集要項

青森県及び株式会社青森銀行では、海外取引の拡大を目的として、台湾企業等とのネットワーク構築（交流会及び視察等）、台湾企業とのマッチング商談会及びタイトロニクス見本市へ参加・出展する県内ものづくり関連企業を募集します。

今年で44回目を迎えるタイトロニクス見本市は、台湾市場を開拓する場であると同時に、中国、アメリカ、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシアから来場する多くのバイヤーに向けて発信できる場にもなり、台湾を拠点に中国・アジア各国等へ進出する絶好のチャンスとなります。

台湾市場の開拓はもちろんのこと、アジアでの海外取引の拡大を目指す県内企業の皆様の応募をお待ちしています。

1 技術交流会・マッチング商談会

(1) 概要

①技術交流会・昼食会（意見交流会）

青森と台湾とのネットワーク形成に向け、県内企業が自社の製品や技術を台湾企業に知ってもらうための技術交流会（プレゼン）を行うとともに、交流会のフォローアップと効果的な商談会の運営に向け、昼食会（意見交換会）を行います。

②マッチング商談会

現地支援機関のネットワークや技術交流会を活用し、台湾企業とのマッチング商談会を開催します。また、滞在中に本商談会参加者が個別に台湾企業と商談する場合は1社につき1名の通訳を最大8時間まで配置します。

(2) 日時

平成30年10月8日（月）10:00～17:00

(3) 場所

台湾世界貿易センター会議室

2 タイトロニクス見本市

(1) 会期

平成30年10月9日（火）～12日（金）（4日間） 10:00～17:00（最終日は16:00まで）

(2) 会場

南港展示ホール

(3) 分野

電子部品&アクセサリ、メーター&計器、電機&自動化設備、バッテリー&電源供給器など

(4) 主催

T A I T R A台湾貿易センター台北本部（中華民国対外貿易発展協会）

(5) 規模

出展者数：383 社、808 ブース(2017 年実績)

来場者数：国内来場者数 16,232 人、海外バイヤー数 2,726 人(2017 年実績)

(6) ブース

青森銀行が手配する 3 ブース (1 ブース 3m×3m=9 m²) を、青森県ブースとして使用します。(1 社当たり 1 / 2 ブースを予定)

(7) 出展物

県内ものづくり企業が製造する製品や保有する技術等 (加工食品を除く。)

(8) 出展内容

各出展企業には、タイトロニクス見本市でのブース対応を行っていただきます。

3 現地視察等

(1) 概要

県内企業の海外進出に必要なネットワーク構築のため、台湾企業の訪問や意見交換等を実施します。

(2) 実施内容 (予定)

- ①日本台湾交流協会台湾事務所からの台湾基礎講義 (商談会に参加しない企業に対し実施)
 - ・ 台湾の情勢、経済状況
 - ・ 台湾との交流 (連携) のメリット
 - ・ 台湾の商習慣や台湾側のニーズ など
- ②県誘致企業の台湾法人企業訪問・見学・意見交換
- ③台湾経済団体からの紹介企業の訪問・見学・意見交換
- ④タイトロニクス見学
- ⑤技術力や価格等に関する台湾市場調査

4 参加企業募集

(1) 募集企業数

技術交流会 (発表者) 5 社程度、商談会は最大 8 社、タイトロニクス見本市は最大 6 社 (技術交流会での発表者は、初めて参加される企業を優先といたします。また、技術交流会・商談会・タイトロニクス出展・現地視察等の各プログラムは、日程が重複しない範囲で複数への参加が可能です。)

(2) 出展の条件

- ・ 県内に事業所を有するものづくり企業等であること。(食品加工を除く。)
- ・ 海外取引拡大に向けた海外企業との商談や交流が参加理由であること。
- ・ 出展者がブースでアテンド・商談することができ、見本市終了後も商談に対応できること。
- ・ 県が成果把握等のために行うアンケート・聞き取り調査等への協力が可能なこと。

(3) 応募方法

参加申込書に記入の上、電子メール・FAX・郵送のいずれかにより事務局まで送付願います。なお、応募者多数の場合は、一部を除き原則として申込順で参加企業を決定させてい

たきますので、御了承願います。

(4) 募集締切

平成 30 年 7 月 27 日 (金) (必着)

(5) 注意事項

- ・ 募集締切後であっても、現地側事情により開催ができなくなるケースがありますことを御了承願います。
- ・ サンプル輸送を行う場合の輸送・通関業者は各者が御自身で選定し、関連の手続き等は当該業者と直接行ってください。(事務局で御相談に応じます。)
- ・ 輸出に時間がかかる場合もあるため、輸送については十分御留意願います。
- ・ 現地視察等については、今後の調整により内容が変更になる場合があります。

5 出展に係る県及び青森銀行の負担と参加企業の負担

(1) 各参加企業が経費を負担するもの (主なもの)

- ① 参加スタッフの旅費及び現地滞在に関する費用 (交通費、宿泊費等) (※1)
- ② 技術交流会 (昼食会) の食事代
- ③ 製品サンプル代
- ④ 独自のパンフレット、PR用品等 (※1)
- ⑤ 輸送費及びそれに付随する経費 (※1)
- ⑥ 特別な備品のレンタル経費 (※1)
- ⑦ 個別企業訪問の通訳の交通費、宿泊費等

※1 経費の一部を補助する制度がございます。

(青森県輸出市場販路開拓・拡大支援事業費補助金)

(2) 県及び青森銀行が経費を負担するもの

- ① 現地支援機関、関係団体等のネットワークを活用した、台湾企業とのネットワーク構築の機会の創出
- ② 基本行程での同行サポート
- ③ 商談機会の創出 (1社につき4~5社程度)
- ④ 技術交流会・商談会 会場費
- ⑤ 企業1社につき1名の通訳配置 (商談会)
- ⑥ 個別企業訪問での通訳配置 (1社につき1名最大8時間まで)
- ⑦ タイトロニクス出展ブース代及び出展に係る基本備品代
- ⑧ タイトロニクス出展1ブースにつき1名の通訳配置 (2社で1名)
- ⑨ 企業情報の翻訳 (A4・1ページ)
- ⑩ 技術交流会用資料の翻訳 (パワーポイント2~3枚程度)
- ⑪ 現地視察時の借り上げバス代

6 基本行程（予定）

月日	タイトロニクス出展企業 (国際経済課・青森銀行)	タイトロニクス出展企業以外 (新産業創造課)
10月7日(日)	【青森空港発着】 15:10→16:30 青森空港 (JL146) →羽田空港 18:15→20:55 羽田空港 (JL099) →台北松山空港	【三沢空港発着】 15:35→17:00 三沢空港 (JL156) →羽田空港 18:15→20:55 羽田空港 (JL099) →台北松山空港 (泊：台北市内ホテル)
10月8日(月・祝)	10:00～11:45 技術交流会 (県内企業による自社製品・技術のプレゼン) 12:00～13:00 昼食会 (意見交換・交流会) 13:30～17:00 ものづくりマッチング商談会 in 台北 ※商談会に参加しない企業については、日本台湾交流協会台湾事務所からの台湾基礎講義を予定しています。 (泊：台北市内ホテル)	
10月9日(火)～10日(水)	9:00～17:00 (最終日のみ 9:00～16:00) タイトロニクス出展 個別企業訪問・商談 (泊：台北市内ホテル)	台湾企業・県誘致企業現地法人 視察 タイトロニクス 見学 現地市場調査 (泊：台北市内ホテル)
10月11日(木)	(泊：台北市内ホテル)	【青森空港発着】 9:10→13:10 台北松山空港 (JL096) →羽田空港 15:05→16:20 羽田空港 (JL147) →青森空港 【三沢空港発着】 09:10→13:10 台北松山空港 (JL096) →羽田空港 16:55→18:15 羽田空港 (JL147) →青森空港
10月12日(金)		
10月13日(土)	【青森空港発着】 9:10→13:10 台北松山空港 (JL096) →羽田空港 15:05→16:20 羽田空港 (JL147) →青森空港 【三沢空港発着】 09:10→13:10 台北松山空港 (JL096) →羽田空港 16:55→18:15 羽田空港 (JL147) →青森空港	

※現地での合流も可能です。

【事務局】

青森県 観光国際戦略局 国際経済課 経済交流グループ (担当：大川・赤坂)

〒030-8570 青森市長島1-1-1

電話：017-734-9730 / F A X：017-734-8119

電子メール：kokusaikeizai@pref.aomori.lg.jp